

市民公開講座「オムツ介護！改善が実感できます」

アンケート集計結果

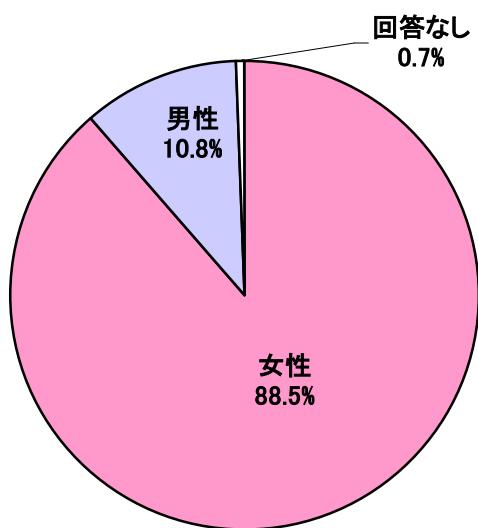
* H19.10.27(土) 実施

会場: NTT 夢天神ホール

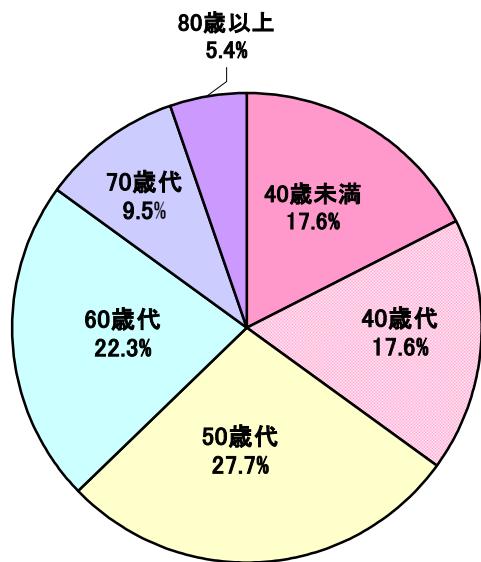
講習会参加者 233 名／アンケート回答者 148 名(回答率 63.5%)

【1】あなたご自身についてお伺いします。

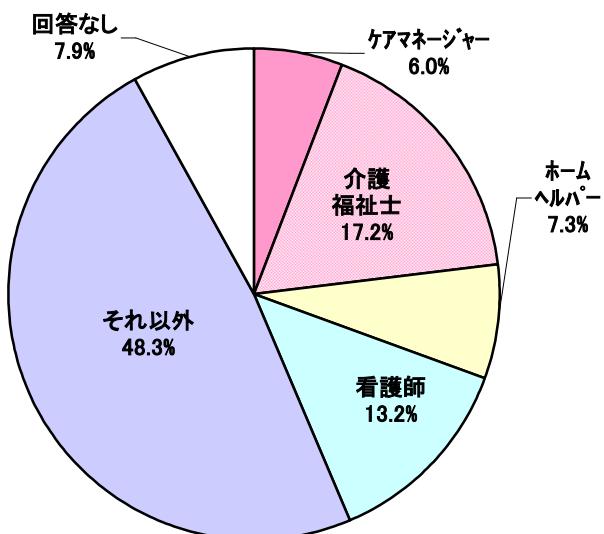
1) 性別



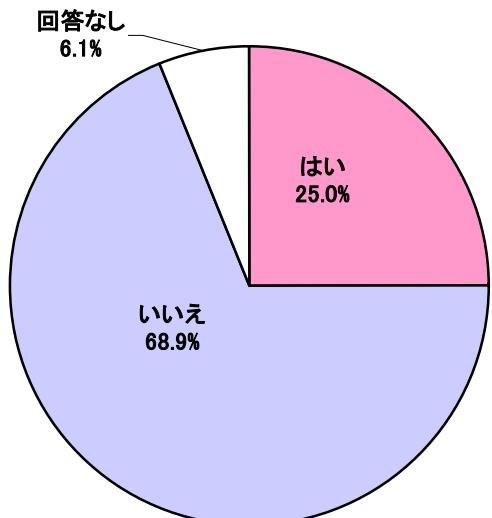
2) 年齢



3) 職業（重複回答あり）

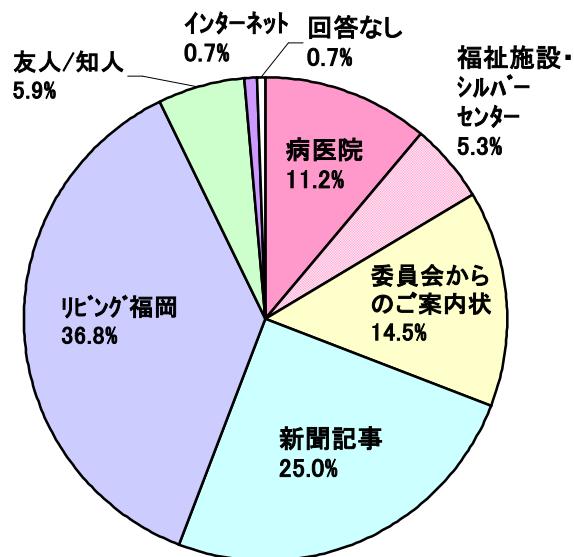


4) 現在 ご家族の介護に携わっていますか？

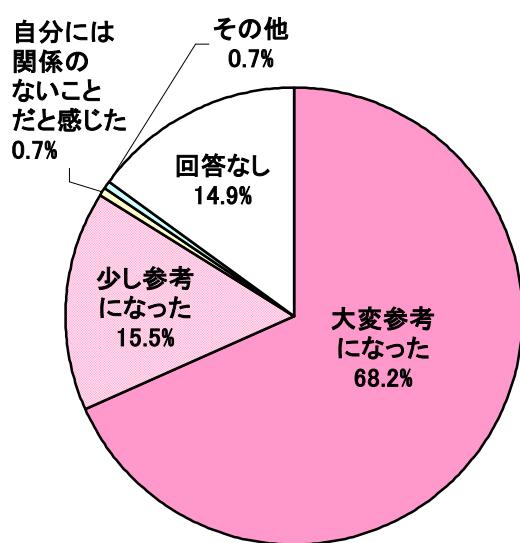


【2】市民公開講座についてお伺いいたします。

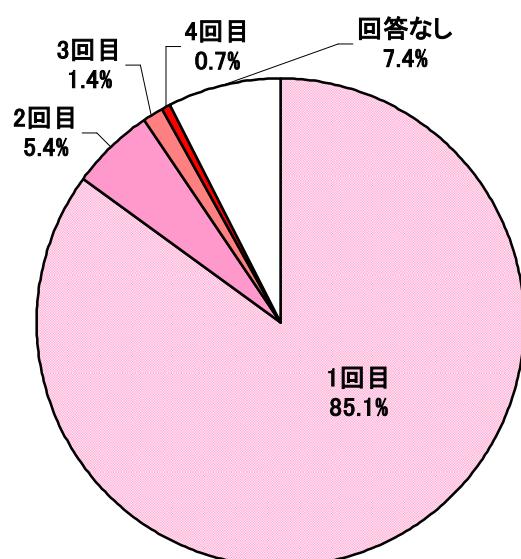
1) 本日の市民公開講座は何でお知りになりましたか？（重複回答あり）



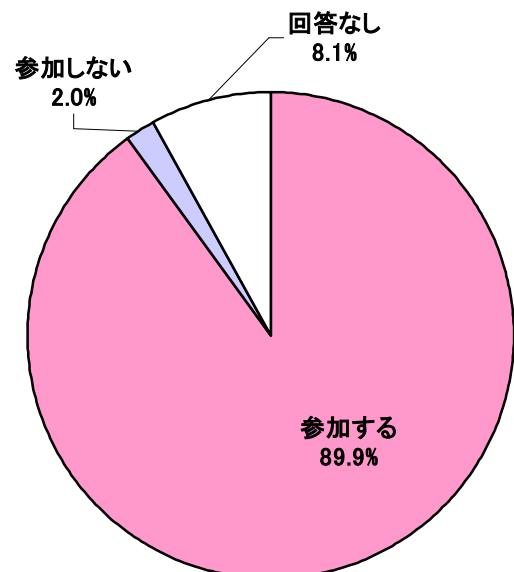
2) 本日の講演はどうでしたか？



4) 今回で泌尿器科関連の市民公開講座は何回目のご参加ですか？



5) 次回もこのような市民講座が行われれば参加されますか？



5) 介護に際し、排泄に関してのお悩みがありましたらお聞かせください。

- ・ 夜間に何度もトイレに行きたくなり、睡眠不足になる。
- ・ 夜間、頻回にトイレに行く人がいる。排尿してないときもある。
- ・ 一日の回数が多いので困る。
- ・ トイレ排尿後、また、すぐトイレに行きたがるが出ない。
- ・ 夜間の多尿で介護者が夜眠れない。自宅なので、なにか改善できないか。
- ・ 夜間の頻回な NS コールで排尿訴えあるが、ごく少量の尿しか出ない。朝食前に訪室すると、多量の尿失禁。オムツは使用していない(リハビリパンツ、尿器使用。日中は NS コール時 WC 誘導している)。ほぼ毎日この状態が続いている。尿失禁したとき、本人は気付いていない。濡れていることもわからない様子。
- ・ 母(88才)が夜中に2~3回トイレに行くので、なんとかならないかと思い、参加させていただきました。
- ・ 夜も昼も回数が多く、その都度、年齢(85才)のせいか動きが遅いため、間に合わないので、本人が非常に気に病んでいる。現実はオムツ常用であるが、尊敬を集めていた人の心地悪そうな様子を見るのは辛い。
- ・ 入居者で脳出血、前立腺肥大がある60才男性。頻尿 1日 25回以上トイレに行かれるのですが、排尿あったり なつたり、本人様はトイレに行かないと落ち着かない。行って2~3分もしないうちにまた行かれるという状態。トイレの介助が必要で、スタッフの方が困っています。
- ・ 夜間頻尿で薬が必要なのかどうか迷う人たちがたくさんいるのですが、今回の話を聞いて、膀胱機能をみて、ドクターに相談しようと思いました。ありがとうございました。
- ・ 在宅で排泄意がある方にヘルパーを導入した場合、サービス時間を決定する方法として何か目安になることがあれば教えてほしい。
- ・ オムツ交換を毎回行っていますが、排泄のリズムさえつかめたら、オムツを減らせるのではないかと思います。リズムはつかめないのでしょうか。
- ・ 父が認知症でオムツを使用している。母が介護しているが、母も体が不自由でじゅうぶん排泄介護ができない(オムツがはずせない)。現在、問題は排泄だけ。
- ・ 尿失禁が多い、認知症の方が食事を摂取したにもかかわらず また食事をとり、下痢をすることもあり、便失禁もみられる。家族ではないが、排泄回数が1日に20回以上あるという話も聞きます。
- ・ 重症だったときオムツをしていた方が、退院後も寝たきりに近い状態でオムツが外れないまま、介護施設に来られる例がよくあります。尿意が本当に消失してしまったのか否かわからず悩んでいましたが、今回のお話内容を参考に実践してみます。

- ・ 自力で排尿できるのにショートステイ等を利用したときにはオムツをつけられ、排尿をうまくできずとまどうことがある。
- ・ 自宅ではパンツ(布)ですんでいたのに、老健に入所したら紙オムツをするようになり、ショックです。(母 89 歳です)
- ・ 軟便の場合のもれ(便意があって、トイレに行くまでにもれてしまう)。どのように介助すればいいのかわからない。
- ・ 父が認知症のため、オムツの生活をしていて、母がその介護にあたっていますが、大きいほうの処理が大変なので、どうしたらオムツの世話を少しでも軽減することができるか…
- ・ 訪問介護の立場で関わらせていただいているが、時間や回数のカベでオムツはずしが難しいのが現状です。在宅生活の継続の支援に排泄の問題はいつも私たちの課題です。
- ・ 排泄をこまかくさせたいなと思っても、なかなかこちらの言い分が相手に伝わらないのはなぜかなあと思ったりするときもある。
- ・ 濡れたらすぐに交換してさしあげたいが、業務(病院)の上でそれができにくい。いくら漏れないとはいえ、自分だったら我慢できるかなあと思いながら仕事しています。
- ・ 尿量が一定でないため、尿失禁させてしまい、後始末に追われる。
- ・ 紙パンツをはいたり、パッドを使用したりと使用したものにしかわからないのでしょうか、対応に戸惑ったりすることが多いです。トイレも汚します。パッド用パンツを使っても漏れて汚しています。
- ・ 母が脳外科に入院中の1ヶ月 バルーン入れていたため、転院しても尿意と同時に排泄。オムツがはずせない。
- ・ できればオムツがはずせたらとお一人お一人どうすればよいかを考えて、自信を持ってケアを提供していけるとよいです。
- ・ 多くの方がリハパンツを使用されていますが、特に夏場は使用しにくく(汗など)、やはり少しでも使用しなくていい方へと工夫できればと思います。
- ・ 職場でできるオムツはずしのための項目を参考に行ってみたいと思う。もう少し時間があれば、もっと話を聞きたかった。
- ・ 介護者が 86 才ですので、思うにまかせず施設に入り、世話になっていますが、勉強してよりよくなるようにいたします。
- ・ 施設内でのトイレの数が少ない。
- ・ トイレに連れて行けない。
- ・ 寒いとき、外出道路を歩いているとき、急に尿漏れをおこす。

- ・失禁の対処に悩むことがある。
- ・オムツをさせたくないけど…
- ・家内が病院に入院中。退院して帰宅したらどうしようかと迷っている。
- ・まとめが大変役に立ちます。
- ・骨盤底筋体操で改善

6) 排泄に関するご自身のお悩みがありましたらお聞かせください。

- ・ 排泄が頻繁で、急な排尿で苦しんでおります。
- ・ 1日に何回もトイレに行く。
- ・ 遠出(バス、車)をすると、頻尿になる。WC のことを考えてしまい、すぐに行きたくなる。
- ・ 炊事をするとき、水道の水が出ると急にトイレに行きたくなります。腰にさわることをすると尿漏れがする。
- ・ 自宅を出かけるとき、排尿して出るが、外出するとすぐ排尿したくなる。寒くなると尿がしたくなるのはどうしてかな。
- ・ 排尿間隔が近いような気がする。(熟睡しているときは間隔が遠い)水、風呂、プール等のとき、尿意を催す。我慢ができない。排便の後、切れが悪い。注意しても下着を汚すことがある。母(91才)を見ていると、排便がわからなくなっている。自分もそうなるかと不安。
- ・ トイレに行きたいので行っても少ししか尿が出ない。
- ・ 夜にトイレに行きたくなって行くけどさほど量が出ない。
- ・ 頻尿、昼夜ともに、不眠、もの忘れ、腹圧性
- ・ 頻尿／尿意を催すと我慢できない。
尿勢低下／残尿感あり数秒分待つと 10cc 前後出る。
- ・ 尿がしたい！でも本当は出ないのでは？緊張感でただしたい気分になるのかなと思いました。
- ・ 高齢のため頻尿で悩んでおります。臓器下脱のためもあり、しかし、手術はしたくないのでひとりで悩んでいます。
- ・ 一日の水分量が少ないので、夕食時にたくさん水分をとっている。そのために夜間にトイレの回数が多い。
- ・ 夜明、尿がたまると膀胱が痛くなる。出してしまうと痛みはなくなる。
- ・ 尿意を催すと、少しの我慢もできず漏らしてしまうことが多く、会合や講演会、音楽会、観劇会等へ行くことがほとんどなくなり、旅行へも行かぬようになった。パットを日に 3 回以上替えることもたまにある。夜間排尿後 寝つかれなく、睡眠不足ぎみ。
- ・ 尿の失禁とまでいかなが、尿意を感じてトイレに行く間、以前よりは少々漏れていることが多くなり、心配になっています。
- ・ 尿漏れを感じるので、今回のお話大変役に立ちました。ありがとうございます。

- ・ 現在のところないが、状況に応じて小用を我慢し、できる傾向があり、それが今後に悪影響を及ぼすことはないかと気になる。
- ・ 今のところありません。前準備として、動く、歩く、健康に心します。
- ・ 最近は筋肉のゆるみを感じるようになりました。
- ・ 尿失禁か汗なのかわからない。

6) 本日の講演内容で最も興味をお持ちになった点をお聞かせください

- ・ 水分のとりかた
- ・ 水分のとりすぎ
- ・ 水の飲み方がためになりました。
- ・ 飲水量。飲水のとりかた。
- ・ 水の量についての違いに気付きました。
- ・ 水分のとりすぎ、有効なオムツはずし
- ・ 水分をとることが良いことではないということ
- ・ 水分を多くとればいいと思っていた。
- ・ 排尿障害の対処法。水分のとりかた。
- ・ 水分強要の弊害
- ・ 水分強要の弊害について
- ・ 水分強要の弊害。おしつこの医学的常識。
- ・ 水分摂取を強制しない。
- ・ 水分を強要させない理由が参考になりました。
- ・ 水の飲ませすぎが問題であるということ。
- ・ 私が思っていたほどたくさん水を飲まなくてよいこと。
- ・ 水分については誤った認識をしている点がありました。
- ・ 水の強要はしないということ、水は飲めば飲むほどよいと思っていたのが違いました。
- ・ 今までの常識がくつがえされた。例えば水分量(飲水量)。
- ・ 水分補給で誤った考えがある。
- ・ 水分と尿の関係性について
- ・ 水分のとりすぎは高齢の方にとっては何もメリットがないことを知りました。
- ・ 夏場は高齢者の方に「脱水にならないように」と飲水をすすめていましたが、それがいけないことと知りました。
- ・ 尿・水分摂取について・強要と弊害について・間違った観念が多くあるとの話がよくわかりました。
- ・ 水分摂取について。認知と病気との違い、見分け方。
- ・ 水分摂取の強制については、今後検討していきます。施設内でもできる検査をしていこうと思います。常識と思ってやっていた事柄を科学的に分析してみようと思った。
- ・ 水分のとりすぎに注意することは今後活用できるので、とても役に立ちます。
- ・ 間違った水分のとりかた。オムツに対する違和感。いろんな症状。
- ・ 水を多く飲まないことを学びました。神経の病気からであることを学びました。
- ・ 水分摂取の間違った認識のこと。排尿日誌等で自覚と治療に役立てできること。

- ・ 便秘の方、早朝散歩の方に水分摂取をすすめていましたが、違っていたことがわかりました。
- ・ 排泄の専門家がいることを初めて知った点。「水の飲ませすぎ」の風潮を知ったこと。
- ・ 水信仰は強かったので。

- ・ オムツはずしの話
- ・ オムツはずしのことです。
- ・ オムツはずしの方法
- ・ オムツをなんとかしてはずしたい。
- ・ オムツをはずす。
- ・ オムツはずしの取組み
- ・ 排尿自立への取組み法
- ・ はぜせるオムツがあると理解できてよかったです。
- ・ はぜせるオムツについて大変参考になりました。
- ・ 不必要なオムツはしないと改めて認識しました。
- ・ 排尿障害すべてのひとにオムツがいるとは限らない。
- ・ 食事は待つことができるが、排泄は待つことができない。患者様の立場になって接する。オムツをはぜせる方、はぜせない方を知る。
- ・ データ的にははぜせるオムツが多かったこと。改めて考え直す必要があると思う。
- ・ 排尿チェックでオムツはずしが可能になることを知りました。
- ・ オムツはずしは可能。オムツはずしスコアで評価する。
- ・ オムツはずしに自分で点数をつけて努力する。オムツをしている人に優しくすること、また、トイレをする姿勢になるほどと思いました。
- ・ オムツはずしスコア
- ・ オムツはずしスコア、自己の排尿を知ることが最も興味が持てる点でした。
- ・ 排泄機能チェックの結果、はぜせるオムツがある。
- ・ 施設内ですぐに実践できる測定記録を通じ、はぜせるノウハウ はぜせる可能性大だということを知ることができたこと。

- ・ 機能評価について
- ・ 膀胱機能検査
- ・ 膀胱が正常かどうかのチェック方法
- ・ 膀胱機能を確認し、オムツはずしをするという点が興味深い。
- ・ 膀胱機能を知るということ！！すべてが参考になりました。
- ・ 膀胱の機能評価を行う。残尿を計ることが大切ということ。はぜせるオムツ、はぜせないオムツの確認も大切。

- ・ 排尿パターンでなく、膀胱機能
 - ・ 排尿パターン → 膀胱機能に変更する。
 - ・ 排泄パターンでなく、膀胱機能を評価すること。私も排泄は待てないので、すぐに対応してあげることが大切だと思います。
 - ・ 排泄パターンではなく、膀胱機能にも視点を向けることが必要だと思った。
 - ・ 腎臓の機能、膀胱・排尿についての説明。グラフを用いての説明。
-
- ・ 介護者の心得。オムツはずしに対する熱意。
 - ・ 排泄は介護の原点！！気持ちを大事にする。ありがとうございました。
 - ・ 介護力には気付き、そのときを患者さんの立場で…という大切さを再度考えさせられました。
 - ・ 講習の内容で半分が実際の現場であったことがあった。
-
- ・ 過活動膀胱について
 - ・ 基礎的事故
 - ・ 排尿日誌の件
 - ・ 北九州古賀病院
 - ・ オムツと排泄と社会の誤った考え方。認知症の方の排泄ケア。
 - ・ 排尿パターンはチャートではわからないし、意味がないということ。
 - ・ 残尿測定が必要であることに興味を持った。
 - ・ あおむけでは排尿できないこと。横向きにすると、排尿する人がいたので。
 - ・ 行きたくなつてからの尿量が 150ml 以上というのが参考になりました。頻尿で 1 回量は 150~200ml で 10 回以上だったのでどうかなあと考えていました。
 - ・ 一日の回数と尿量のこと。大変よかったです。
 - ・ 難しくてついていけなかった。
 - ・ 自宅介護に関しては具体的な症例もなくがっかり。病院、介護職の人には役に立つたかもしれないが。
 - ・ 忙しいからオムツをして仕事をまわすのではなく、心をこめて人に対応する最後のあいさつのところに思いが集約されていると思いました。そのためのひとつひとつの確かな努力にとても感心しました。
 - ・ 高齢者特有の心理、行動パターンによく通じておられ、感心しました。
 - ・ おしつこの医学的常識など、こまかいことが改めたわかり、また勉強になりました。
 - ・ 生活習慣病等、動脈硬化や脳卒中の講座はよくあるが(テレビ・雑誌)、泌尿器系は少ないので大変よかったです。
 - ・ 全部よかったです。
 - ・ 本当にありがとうございました。